

描き足す未来

青春、さがまち

特集 さがまち×チャレンジする学生
街と、人と、繋がる未来

みんなのSC相模原

様々な取り組みやってます団地のステキ発見

気になるSagamachi

黒板アートのつくりかた

Take Free

ご自由にお取りください

¥0

..... さがまちからのお知らせ

さがまち学生Club 活動中!

今号を制作した「さがまち学生club」とは、コンソーシアム加盟校の学生が「学生のチカラでまちを盛り上げる」をコンセプトに、まちづくり活動を企画・実施する学生主導型プロジェクトです。

今後も地域情報誌の制作やメディアを利用したPR活動、新イベントの企画立案など、地域のまちづくり活動に取り組みます。



さがまち学生Club 公式Twitter, Facebook 公開中!



さがまち学生Club 公式Facebook
<https://www.facebook.com/sagamachi.pr>



さがまち学生Club 公式Twitter
@sagamachi_club

活動紹介(2017)

- ・情報誌さがまの制作
- ・FMさがみラジオ番組ゲスト出演
- ・さがまち学生Club公式「フェイスブック」「ツイッター」開設
- ・町田市藤の台団地活性化プロジェクト「ふじずかん」企画・運営
- ・相模原市「橋本七夕まつり」でのブース企画・出店
- ・相模原市「つくい湖上祭」でのブース企画・出店
- ・町田市「食育フェア」でのブース企画・出店
- ・町田市小山中学校での特別授業
- ・「あいおいみんなの食堂」とのコラボレーション
- ・相模原市内企業のPR記事制作
- ・町田市青少年施設「ひなた村」PR動画制作
- ・相模原市「介護のしごと」PR動画制作

...など多方面にて活躍中!



..... 事業紹介

学生情報局「さがまちバンバン」放送中!



コンソーシアムの参加大学の学生が制作する地域情報番組「さがまちバンバン」。様々な視点で制作したオリジナル番組をWEBで公開しています。是非ご覧ください。

<https://sagamachi.jp/eizou/banban>

..... さがまちコンソーシアムについて

「さがまちコンソーシアム(正式名称:公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム)」は、相模原市と町田市を生活圏とする大学、NPO法人、企業、行政などさまざまな主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、魅力あふれる地域社会を創造することを目的に、2007年(平成19年)6月に設立され、2010年(平成22年)4月に一般社団法人になり、同年10月に公益認定をいただきました。

加盟機関 (50音順)

- 【大学等】青山学院大学/麻布大学/和泉短期大学/桜美林大学/北里大学/國學院大学(人間開発学部)/相模女子大学/相模女子大学短期大学部/サレジオ工業高等専門学校/湘北短期大学/女子美術大学/玉川大学/多摩美術大学/東京家政学院大学/東京造形大学/法政大学/山野美容芸術短期大学/和光大学/町田・デザイン専門学校
- 【企業等】小田急電鉄株式会社/株式会社紀伊國屋書店/株式会社さがみはら産業創造センター/株式会社JTBコーポレートセールス/株式会社町田新産業創造センター/株式会社八千代銀行/株式会社横浜銀行/相模原商工会議所/町田商工会議所
- 【公益法人】一般財団法人生物科学安全研究所/一般財団法人町田市文化・国際交流財団/公益財団法人相模原市まち・みどり公社/公益財団法人相模原市民文化財団/公益社団法人相模原市薬剤師会
- 【NPO法人】NPO法人相模原エスティアート/NPO法人さがみはら市民会議/NPO法人CCCNET
- 【行政】相模原市・町田市
- 【参考会員】アイワ広告株式会社/株式会社F-Design/株式会社サーティーフォー/株式会社さくらノート/富士工業株式会社/株式会社三越伊勢丹 伊勢丹相模原店/社会福祉法人相模原市社会福祉協議会/社会福祉法人みずき福祉会

「さがまち」No.23

大学と地域の情報を大学生視点でお届けする情報誌

発行月：2018年3月
発行所：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム
URL：<http://sagamachi.jp> E-Mail：info@sagamachi.jp
「さがまち」23へのご意見・ご感想を、はがきまたはEメールでお寄せください。
郵送先：〒252-0307 相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学内
公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム事務局宛



国民年金基金とは...

国民年金に加入している自営業者やフリーランスなどの方が、より豊かな老後生活を送れるように、国民年金(老齢基礎年金)に上乗せする公的な個人年金です。



学生TV-CM放送中

神奈川県国民年金基金のTV-CMを地元大学生が制作しました。制作されたCMは下記の番組で放送されています。是非ご覧ください!

【現在、学生CMが放送されている番組】

tvk「tvkニュース」「tvkNEWSハーバー」
J:COM、ITSCOM、JCNなど「かながわ情熱アスリート」
※過去に放送されたCM動画は神奈川県国民年金基金HPをご覧ください。

さがまち × チャレンジする学生



相模原市・町田市にはたくさんの大学があります。大学があるということは当然学生がいます。その学生の中にはいろいろなことにチャレンジをしている学生がきっといるはず。そして、学生たちがチャレンジから得た思いを語り合えばきっと面白い！そんな思惑からこの記事が生まれました。また、やりたいことに挑戦するのは楽しいばかりではないはずだ。「どんなことをしているの?」「壁にぶつかってもチャレンジを続ける理由は?」「やりがいは?」そんな疑問に、地域でチャレンジしている3人の学生に座談会形式で答えていただきました!

——早速ですが、今はどういった活動をされていますか?

あつき 「はやお☆サークル」は、子供向けのワークショップを主にやっています。山崎団地でワークショップをやった時はダンボールで迷路を作ったり、ペットボトルで神輿を作ったり、本来捨てるものを使って環境に優しいワークショップをしようというコンセプトで活動しています。

もーりー 私は、藤の台団地という、町田市にある団地の活性化長期のワークショップを一から組み立ててというのをやっています。

そらち 私は「竹カフェ」という地域交流会で地域に住んでいる方や町田市の方と学生と一緒にワークショップをやったり、「益城町を応援しなくっ茶ープリン」という熊本の支援をしています。「東京と熊本」の繋がりを作る」ということで益城町のお茶屋さん、大学近くの東京のプリン屋さんで協力してお茶プリンを作って、ラベルを益城町の子供に書いてもらって「まちカフェ(町田市のイベント)」で売ったりしています。

——では、挑戦を始めたきっかけはなんですか?

そらち ボランティアセンターは企画ができるという事だったので、じゃあやってみようかな、と思って入

力とは?」ってなった。
そらち わかります。それに、それを「生かしてくれよう」としてやるんですか?本当に」って聞きたくなる。

あつき へー、そうなんだ。
そらち でも、自分の意見を言わないのもつたないかなって思っています。学生の間は。

もーりー わかるわかる。
そらち なんか、おとなしくしてるともつたない気がして、もう、いから言おうかなって、「もってけドロボー!もつ」といいの考えられるんだぞ、こっちは!」みたいな笑

あつき 強い!
そらち 強くありますよ!
あつき 俺はなかなか言えないな...でも周りが大人に対しても結構言える奴が多いんで、それ見ると「あ、いいな。」ってなりますね。

自分はマイナスを考えちゃうんですけど、もうちょっと思い切ってもいいのかなーって。

——「これ失敗しちゃったな。」ってことありますか?もし失敗から学んだことがあれば合わせてお答えください。

あつき 自分は、あるプロジェクトに携わってんですけど、そのプロジェクトにいてるってだけで終わっただけで、その時他にやることもあってくずくずしてたら「あ、俺何もやってねえ!」ってすごく焦ったことがあります。

りました。
もーりー 私フリーペーパーがやりたかったんですよ、本当は。学園祭で企画やって、広報物何回か作ってすごく楽しいなと思って。でも学内より外の方が楽しいかなって、さがまちに入りました。

あつき 造形デザインという学科にいますけど、「はやお☆サークル」をやるって事は、もっと深く分野に潜り込んでいくのか...。大学に入るならもっと突っ込んでいきたいなっていう気持ちがあったって入ったっていうのと...実は好きな子がサークルに入っていて、近づいていなくて、それが2割です笑

——活動の中で自分がやりがいに感じていることはありますか?

そらち やっぱ、地域の人に顔とか名前とか覚えてもらえることですかね。

あとはなにかに参加したときに「次〇〇やるからおいでよ!」とか言ってもらえるのが一番嬉しいです。

あつき 俺はイベントをやっていたんですけど、その時にちっちゃい子が「この前のハロウィンの空気砲のお兄さんだ!」って俺のこと覚えてて。

人とのふれあいとかつながりがあると面白いですね。ワークショップの枠を超えて深くまで繋がるこ

今は、「この日は出てください。」とか「これやってください。」っていうのは絶対最初の時間から最後までいるようにしたりとか、当然の事なんですけど、「動かなあかんあ。」みたいな、ひきしまった感じがあります。

もーりー でも、サークルとかが、案外それができない人がいるから。
あつき あ、意外と多いですね。
そらち まあ、学生はとりあえず許される感あるから、失敗はないというか。守られてる感じはありますよ。

もーりー 私は、最近は就活で活動になかなか参加できていなくて、自分が引張ってたプロジェクトにも携われなくなっ。しょうがないんですけど、すごく困らせたんだらうなっていうのがあって、どうすれば良かったらうなって思うことがある。

あつき、**そらち** うーん...
もーりー 引き継ぎっていうほどになかったわけでもないし、たとえばリーダーだったりしたら、それなりに対処したんだらうけど、そういうわけでもないし。でも、私が発言すると会議の方向が変わることも多くて、自分がいなくなると思うくらい困らうなって思いました。

あつき へー...
もーりー 内容を詰める時も参加出来なくて、昨日日本番だったんですけど参加者も全然集まらなくて、色んな理由があったんだらうけど、私がいたらやり方とか変えられたのかもしれないなと思って。



とができるんで、やっていいなって思うことがありますね。

もーりー 学生の活動報告会で喋った時に「これって何の意味があるんだらう?」って思っちゃって。聞いてる人たちが学生とお年寄りしかいなくて「喋ったところで自己満足にすぎない?」って。地域活性とか『学生の手で街を盛り上げる』っていうコンセプトでやってるのかって、本当にそうなるのかって、このを懐疑的に見るようになってから、単発でやるイベントとか、学生が裏方でやるのも「それによって地域がどれだけ盛り上がるのかわからない」と思ってる。だから、最近では直接的な影響は何

なのとか、どうしたらその効果が見えるようになるんだらうかっていうのを考えながらやるのが楽しくて。私が活躍したいと思ってる理由がそこにあると思ってます。

——挑戦をする上で課題に感じることは何かありますか?
あつき はやおサークルはライングループだけで92人いて...。
もーりー、**そらち** 92!?

もーりー それって、3分の1くらいは幽霊部員じゃないですか?
あつき はい、特に1年生の参加率が低くて...。もちろん積極的な子もいっぱいいるんですけど、どうやって顔を出してもらおうかって

いうのが課題で...。
もーりー 毎年お決まりなんですか?
あつき そうですね。自分らが1年の時も行かない人が多くて、2年生になったら先輩と授業と一緒に繋がりが増えてくる人の数が増えたりするんで、時間が解決するかなーっていう感じもするんですけど...。
もーりー へー。さがまちも似てるような気がする。出欠の問題はすごいある。

学生も違うし、かといって上下関係がある団体でもないから、すっといなくなっても問題はないって思っちゃうからか?

そらち 私は、私1年生なので。大人の人に「18のくせに。」って思われてんたらうな、きつと。

なんかアイデア言っても、所詮学生の意見だっと思われてる感じしません?すごいちゃんと聞いてくれる人もいれば、「はいはい。」って感じの人もいて「今に見てろよ!」って思ったりします。

もーりー うちの団体は大人から「若い力でなんとかして欲しい。」ってお願いしてもらった感じが、多いから聞いてくれないっていうのはあんまり分からないけど...『学生の

学生の活動によって地域がどれだけ盛り上がるのかわからないとやっってる意味がない

学生の活動によって地域がどれだけ盛り上がるのかわからないとやっってる意味がない

——様々な挑戦をしてきたなかで、その活動をする前と後でなにか変わったことはありますか？

そらち そうですね。私本当は人見知りで、知らない人と話すのも絶対嫌で、知らない場所に行くのも嫌で嫌でしょうがなくて。でも、学生生活課の課長が地域出ること大切に行っている人で、何処にでも連れて行ってくれたんですよ。「社会勉強になるから」一緒行こうよ。」って。最初は嫌で嫌でしょうがなかったんですけど、でも意外といけんじやんって思ってた。最近はお〇〇さんこんにちは！」ってなれるようになったのでそれがすごい、宝物です笑

あつき おー

「とりあえずやってみよう！」って気持ちが出るようになって。
もーりー あー大事！
あつき 「〇〇あるんですけど、やってみませんか？」っていう呼びかけに、とりあえず突っ込んでいこう、みたいなのは変わったな！と思うんですよ。それに、造形の学科の人たちとかサークルの人たちが好きなんで、その人たちと一緒に行動するのが好きというか、活動するのが好きっていうのもあるし。そういう気持ちの変わり方もあって、広がっているのも変わったんですけどね。

もーりー いい話すぎる。

あつき 自分はなんか、中学校から陸上陸上ってやってきて。絵は小さいころからやってきたんですけど、その傍らって感じで、サークルに入って活動を始めて不安とか、これどうするんだろうって。遅れみたいなを感じたところがあったんで…劣等感とか言おうと極端ですけど。でも、ワークショップとかいろいろな活動をやっていくうちに

人との繋がりと…行動範囲じゃないですけど変わったなって。自分の中で豊かさが増えたっていうのが変わったかなって思いますね。なんか、大学に入学して「や」と始まった！」みたいな感じはあるんで。

もーりー、そらち おー

あつき 本当に、陸上以外中学校からやってないんで、スポーツクラスだったんですよ、高校、周り男しかなくて、フロアとかも一般クラスと分かれてて、結構周りがスポーツ系で、自分は性格が文科系っていうか、周りとは違うカラーの人

いなー。やんなきゃ絶対後悔するなと思ってるんで。

おとなしくしてるよもったいない

じゃなくていろいろなことに挑戦することで「ワークショップは苦手だけどこれなら好きだし興味ある。」って全員が参加できる状態がいいかなって思いますね。

あと個人としては、デザフェスとか(東京ビッグサイトで年2回開催されるアートイベント)やったことないんでそういうのに参加したりとか。えーっと…絵とかやってるんですけど、結構ウケがいいっていうか、自分で言うのもあれなんですけど…

(おもむろに鞆からノートを取り出すあつき…左写真参照)

もーりー、そらち すごーい！かわいい！
あつき これ、ポスカード描いてるんですけど。作品を展示した時に「スマホケースとかアクリルキーホルダーとかないんですか？」ってよく聞かれるんです。なんで、そういうのもできたらなって。やっぱり外にも出していき

最後の質問です。あなたが挑戦し続ける理由は何ですか？

あつき 気持ちが強すぎて言うんですけど『好きだから』って以外ないですね。好きだからって言うても色々あって、人が好きだし、活動が好きだし、好きだからやってるし。まとめるそんな感じですよ。

そらち えー…『たのしいから。』かな笑

もーりー 私は『変化を作るため。』かな。自分もそうだし、周りの人もそうだし、環境もそうだし、何か変わるものを作っていたいから。

——ありがとうございます。

間で、あんまり高校のときは周りと深い関係みたいなのがなかったんですよ。大学に来て繋がりができてから「あ、俺今生まれたんだな。」って「こっから人生だわ！」って。

そらち 「今生まれた。」笑。名言ですね。

もーりー 私は、学外に出るということを始めてやったんですよ。ずっと内輪で、中高も田舎の森に囲まれた女子校にいて。

あつき 森：笑
もーりー 『私と私の友達がこの世の平均』って感じだったんですけど、ずっと。世の中をあまり知らず、狭い世界にいたんです。大学も20人くらいの一言一語十伝わるみたいなコミュニケーションにいたから。それはそれで楽しいけど、もうちょっと外を見てみてもいいんじゃない？」

と思って入ったさがまちは、大学も違えば学んでもう違う、学部も全然違うみたいなのがなくて自分が言っても伝わらないことがいっぱいあるし、ちょっと変わっている人が多くて。得られるものとか喋っていて面白い人が多いから、そういう人たちと話していると許容する力を得たと思う。前までの私だったら「はあ？何言ってるの？」ってなってるのを笑って返せるようになったっていうのが、今の私を形成しているような気がします。

取材後記

私が今回の取材を通して一番感じたことは「チャレンジする学生はカッコいい！」ということ。3人とも腫がきらきらと輝いていて、とてもまぶしく感じました。

取材を終えた今は「相模原市と町田市にはこんなにかっこいい学生がいるんだぞー」と自慢して回りたい気分です。

学校も学年も学んでいることも全く違う3人の座談会。チャレンジの内容も違えば、これからチャレンジしようと思ってることも違いますが、確かに自信に満ち溢れていました。私は目標をしっかり持ち挑戦し続ける彼らに憧れを抱くと同時に、同じさがまちの学生として負けてられないなと強く思いました。

これからも街とともにチャレンジを続ける彼らから目が離せませんね。

あ、俺今生まれたんだな。

——では、これから挑戦していきたいことはありますか？

もーりー 私は、さがまちのことを社会人になってもやりたいと思いたいな、それも将来仕事としてできたいな、それとも思っています。私は「まちづくりがしたい」ってさがまちに入ってたわけじゃないんですけど、でも今は地域への志も高くあって、いろいろな活動をして、まちづくりに大学生活を捧げたから、そのままできればいいなと思って。

人と関わるみたいなのところは忘れずにいたいから、地域の人と喋って何か企画するっていうのを相変わらずできたらいサイコーだと。

そらち 自分は福祉の観点からまちづくりに関わりたいなって思っていて、地域交流にも学生と地域が交流するとか、地域が仲良くなるとかって良さもあると思うんですけど。福祉の観点から言ったら『おじいちゃんおばあちゃんの孤独を防ぐ』って方にも繋がっていくじゃないですか。例えば子供とおじいちゃんおばあちゃんに関われる機会を作るとか。地域防災とか、そ

ういう福祉的な地域の取り組みに学生として関わりたいっていうのが本音で。でも、やりたいっていうのは簡単なんですけど、地域との関わりに重要性を見ている学生ってなかなかいない…。

ゴミ拾いのボランティアとか子供のボランティアとかは人気があるんですけど。おじいちゃんおばあちゃんとか障害者の方とか全部含めて地域だから、そういう地域のあり方に学生として関わりたいし、卒業してからも『おじいちゃんおばあちゃん、子供、障害のある人、学生も含めての地域』を作るのに関わりたいなって思います。

あつき 来年から二つに分かれていた学部が一つになって、デザインと映像制作が学べる学部ができるんです。だから(はやおサークル)のでできることが増えそうなんです。でも今一年生が来ないって状況なんで、繋がりをか作る機会を設けたら、今までできなかった事ができると思ってるし、人数多いんで色んな趣味とか考えの人がいて、子供のワークショップとかを主にやってると来る人が偏るんですけど。なんで、ワークショップだけ



あつき

はやお☆サークル
大学2年生

今も陸上部で長距離をやっている生活を送っているのだから。最初から最後まで明るい方で、話すとき必ず笑いが起こっていました。内容も「好き」という言葉であふれていて、人の素敵なところをたくさん見つけられる方でした。



あつきが見せてくれたノート



そらち

法政大学多摩ボランティアセンター
大学1年生

自転車に興味でいろいろなところに遊びに行くのが好きとのこと。初めはふわっとしたやわらかい雰囲気の影響でしたが、座談会が進むにつれ切れ味の鋭い言葉が増えるように…。でも、しっかり自分の意見が言えるってすごいなと思いました！



もーりー

さがまち学生Club
大学3年生

最近はカフェ巡りにハマっていて毎日のようにカフェに行くそう。どんな話題もズバツと発言するところが印象的でした。さがまちでも切り込んだ意見にハッとさせてもらうことが多いです。



**SC相模原の
お二人にインタビュー**

今回インタビューに答えていただいたのは、今季から移籍してきたフォワード・背番号19の**大津耀誠**選手(22歳・写真右)と、今季プロ1年目のディフェンダー・背番号22の**古川雅人**選手(22歳・写真左)のお二人です。「サッカー」「SC相模原」「サポーター」の3つのテーマでインタビューしました!



— SC相模原の強みはなんでしょか?
大津 守備の強さですね。練習も守備がメインなので。前線からも守備徹底です。
古川 そうですね、大学の練習に比べて、SC相模原では組織的な形で、細かい所まで練習しています。
 — 練習中に意識している

— SC相模原に加入を決めたきっかけは?
古川 12月の大学選手権後に声をかけてもらいました。Jリーグからのオファーを待っていたのですぐに決めました。
大津 オファーももらった時点で、以前同じチームだった千明くん(千明聖典選手)に色々話を聞いて決めました。

— 川口選手加入前後で印象が変わった事はありますか?
古川 川口さん川口能活選手は、真面目で怖い方なのかなど思っていたけど、練習中に優しく指示してくれたり、天然だなと思う一面もあるので、イメージと違いました。
大津 イメージしていたより雰囲気すごく良く、1日目で溶け込めました。自分から話しかけると言うよりは、いじってくる感じです。

— 試合中って緊張したりするものなんですか?
大津 全然じゃないです。でも、気持ちには緊張してないのに身体が緊張していたりということはあると思います。
古川 いままで曖昧な場所へクロス(ゴール前へパス)することあげていたので、狙う事を意識しています。また、アプローチの速さも意識しています。
大津 僕はフォワードなので、練習から他のフォワードの選手よりアピールすることを意識しています。ゴール決めるとか、身長も高いのでポストプレー(攻撃の起点となるプレー)も大事にしています。



— サポーターの存在をどう思っていますか?
大津 どんな時もサポーターの声援はパワーがあるので、90分走り切れます。試合中の声援はすごく力になります。
古川 サイドを駆け上がる姿を見てほしいですし、誰よりも走っている人がいたら全部自分だと思ってもらえるくらい走り負けないように頑張るので、ぜひスタジアムに観に来てください!

— 自分のサッカーでの強みはなんですか?
古川 体力はある方と思うので相手に走り負けない部分だと思います。
大津 身長の割に足元が繊細なところですね。難しいボールが来たとしてもコントロールできるようなしています。
古川 サポーターにかけてもらって嬉しい言葉は?
大津 「良くなってるね」とか言われると嬉しいです。評価して自分じゃなくて周りの人がするのだと思うので。
古川 シンプルに「頑張ってるね」と声かけてもらえるのも嬉しいですね。ほくたちのことを気にしてくれているんだなと思います。

— サポーター、そして、試合観戦に行った事がない方へメッセージをお願いします
大津 J3のなかでも屈指だと思ってくらい良いメンバーが揃っていて、優勝争いできると思うし、優勝目指して頑張っていくので、ぜひスタジアムに足を運んでいただきたいです!
古川 サイドを駆け上がる姿を見てほしいですし、誰よりも走っている人がいたら全部自分だと思ってもらえるくらい走り負けないように頑張るので、ぜひスタジアムに観に来てください!

— 試合中って緊張したりするものなんですか?
大津 全然じゃないです。でも、気持ちには緊張してないのに身体が緊張していたりということはあると思います。
古川 いままで曖昧な場所へクロス(ゴール前へパス)することあげていたので、狙う事を意識しています。また、アプローチの速さも意識しています。
大津 僕はフォワードなので、練習から他のフォワードの選手よりアピールすることを意識しています。ゴール決めるとか、身長も高いのでポストプレー(攻撃の起点となるプレー)も大事にしています。



SC相模原

サポーターから見たSC相模原
 これを読んでサポーターへの一歩を踏み出してほしい!と思い、まずはSC相模原に関する質問を3つ、サポーターの方々にインタビューしました!

K.T.さん
 SC相模原サポーター歴 5年

A1 母に連れてきてもらったのがきっかけです。
A2 週末にSC相模原があるから一週間頑張れます。
A3 選手との距離が近い! 試合後に選手とハイタッチができる!

H.S.さん
 SC相模原サポーター歴 3年

A1 もともとサッカーは好きで、息子が学校でチケットをもらってきたのをきっかけに観に行くようになりました。
A2 無いと困る、生活の一部です。
A3 身近で近づきやすい!

岩内章浩さん
 SC相模原サポーター歴 7~8年

A1 違うチームにいた好きな選手がSC相模原に移籍したことがきっかけです。
A2 生活の一部で、アウェイの試合も観に行きます。
A3 スタジアムのゴール裏のサポーターがすごくウェルカムなので気軽に溶け込みやすい!

糠信要城さん
 SC相模原サポーター歴 4年

A1 有名な選手がいると聞いて見てみようと思って観に行き、初戦は負けてしまったが、スタジアムの雰囲気が良く、勝つまで見てみようと思って観始めたのがきっかけです。
A2 人と人をつないでくれる。このチームのおかげで様々な人と知り合うことが出来たので感謝しています。
A3 スタジアムの雰囲気がすごくいいので来て感じてほしい!

H.T.さん
 SC相模原サポーター歴 4年

A1 同僚に誘われて観戦した時、負けてしまったけどスタジアムの雰囲気が良く観に行くようになったのがきっかけです。
A2 生活の一部で切っても切れません。
A3 スタジアムグルメが充実している!

W.A.さん
 SC相模原サポーター歴 6年

A1 新聞屋からチケットをもらったのがきっかけで、ゴール裏で試合を観始めました。
A2 元気をもらえる場所です。
A3 勝ち負けじゃない良さがスタジアムにある!一回来てみて!

O.S.さん
 SC相模原サポーター歴 7~8年

A1 他のJリーグにチームを応援していたが、地元でプロサッカーチームが出来たので観に行こうと観始めたのがきっかけです。
A2 SC相模原の試合観戦が家族行事です。アウェイも旅行として行きます。
A3 イケメンが多い! 上のカテゴリでやっていた技術ある選手も多い!



様々な取り組みやっています！

団地のステキ発見

皆さんは、「団地」と聞くとどんなイメージを持ちますか？今回、私たちは町田市にある鶴川団地、藤の台団地へ取材に行ってきました。各団地では様々取り組みがあり、もしかすると皆さんがイメージされている団地とは違うかもしれません。この記事をきっかけに団地や近くの公園に興味を持ってくれると嬉しいです。

冒険遊び場

鶴川団地

今回、私は鶴川団地にある冒険遊び場という所に行ってきました。街角の公園のようなところを想像していた私は、想像以上に広い遊び場にびっくりしました。ここでは、プレリーダーという子供を見守りつつ一緒に遊んだり遊具を造ったりする方が常駐しています。取材に答えてくださったロッキーさんもプレリーダーの一人。プレリーダーになったきっかけは、孫を連れて遊びに来た際声をかけられたから。二か月の研修を経て晴れてプレリーダーになったそうです。お孫さんが3人おり、お孫さんともこの公園で遊ぶことがあるそうです。この冒険遊び場では、要らない廃材などを持ってきて、一から遊具を造ります。子供たちも家ではできない釘打ちなどもすることができるとも楽しいところですよ。

また、休日にはお父さんも参加し子供と一緒に工具を使い物を作るそうです。親子のコミュニケーションも取れて最高ですね。子供は、ここで礼儀や謝ることも自然と身につけることができます。様々な学年が集まるので自然と上下関係が出来上がっているのですね。「自分は子供と一緒に遊ぶだけ」と言っていたロッキーさん。取材中にも子供が寄って来て冗談を言い合ったりして、信頼関係が築かれています。

とがよくわかりました。

また、イベントも定期的に行っているそうです。クリスマスには、まっぼっくりでリースを作ったり、サンタに変装して子供にプレゼントをあげるイベントを開催しています。

今後冒険遊び場で挑戦したいことを聞くと、火おこしで燻製を作りたいとのこと。ようやく、公園内でも火を使っていきたいという許可が下りたので現実的に話を進めているそうです。ですが、やるにあたってはまだまだ準備が必要というところらしく、挑戦していきたいとおっしゃっていました。冒険遊び場はお母さんからも評判がよく、インタビューに答えてくださったお母さんも、遊ばせやすいとおっしゃっていました。

何年か後に公園に来た際、冒険遊び場の思い出が残っていると嬉しそうに話していました。

取り組み紹介

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子供たちが自由に遊べる環境を提供している遊び場です。毎週火・水・土日に開催しています。開催時間は、10時から17時前後です。沢山の遊具があり、子供たちも遊具を造るお手伝いもしています。プレリーダーが常に在駐していますが基本は子供主体で遊べる遊び場となっています。

取り組み紹介

2018年1月より藤の台団地にて4回にわたるワークショップ(以下:WS)「ふじずかん」が開催されました。主催はさがまち学生OJbと町田市。藤の台団地の活性化を目的として、まずはパパママにターゲットを絞り、パパママ世代の交流の場として成立するようなWSイベントを開催、来年度も活動予定となっています。

町田駅からバスで15分の場所に藤の台団地があります。団地には幼稚園から小・中学校、病院やスーパーマーケットなどの施設が併設されており、小さな町といったイメージになっています。今回はそんな生活感あふれる藤の台団地を盛り上げようとしているさがまち学生OJbのふじずかん担当メンバーに取材を行いました。藤の台団地には隙間を縫うように多くの公園が点在しています。子供達やママさんパパさんの生活の一部である公園をうまくWSに活用できないかと考えたそうです。最終的には、藤の台団地の情報を網羅した図鑑のような冊子「ふじずかん」を発刊することを考案しました。この冊子には、点在する公園をまとめたマップやWS開催の様子が収められています。

企画段階でメンバー達は

子育てをしたことがない為、ママさんパパさんが何を求めているのか分からず苦労したと言います。子育て雑誌を読んだり、学生自らが呼び込みのポスターを作り宣伝したり、他の団地のWSの実例を参考にしながら何ヶ月もWSに向けて準備を重ねてきました。

そのかいあって、4回のWSはどれも大盛況のイベントとなり、参加者は合わせて約70名。参加してくれた子供は、3〜4歳の子が多く和気藹々とした雰囲気の中で行われ、リピーターの方もいらっしゃいました。

参加費は無料、さらにランチ付き、安心して子供を預けるスペースがあり、団地内のママさんパパさん友達を作れるのが「ふじずかん」の最大の魅力です。親同士だから話せる子育ての悩みや苦労を打ち明けあい、子育てばかりで人と話すことが無縁になっていて、「このWSで久しぶりに子供以外の人と会話した」と言うママさんがいました。アットホームな空気が作れるのは団地の特徴でもありません。人と人を、人と団地を繋いでいくWSとなりました。今後も引き続きWSを定期的に行い公園マップなどママさん達の声を冊子にするつもりとの事です。今後もご期待です。

ふじずかんワークショップ 藤の台団地

編集後記

横山 子供たちが伸び伸びと遊べる環境があることがとても貴重だと思います。子供とプレリーダーの距離は近く、信頼関係が築けていると感じました。子供主体なので責任は子供本

人とありましたが子供たちは責任を持って遊んでいるように見えました。学童もいいとは思いますが、この遊び場で学んだことは将来に何らかの形で残ると思いました。ロッキーさんはとても面白くていい方なので、興味のある方は会いに行ってみてはどうですか？

松井 団地と聞いてもっと子供が少なく物寂しいといったマイナスイメージを持っていましたが、実際は生活感を感じさせる温かな団地の雰囲気でした。

お昼を食べながらママさん達の話聞き、団地に住んでいる人だから分かる魅力や小さな幸せを知り、素直に団地

への興味に繋がりました。また、ママさん友達を作りきたという参加者は勿論ですが、子供同士、最後は仲良くなって帰って行く姿が、この先の団地活性に期待が持てました。今後もふじずかんを通しもっと地域の中で繋がりが深まっていったらと感じました。





カフェららら

取材/記事：久保

相模大野駅から10分ほど歩いたところに「カフェららら」があります。この心地の良い素敵な店名は、鼻歌で「ららら」と歌うような気楽なイメージで、覚えやすいものというところから付けられたそう。木を基調とした店内は落ち着いた雰囲気です。「ただいま」が入っていきたくなる空間になっていました。窓際にはコンセント付きの一人席もあり、勉強にぴったりです！



店内にはたくさんのお客さんが描いて置いていたもので、「捨てちゃもったいない」と思い飾っているのだとか。店内のほっとする空気感、店主とお客さんのやり取りの中で作られたものだと感じました。店内では場所提供という形でワークショップが行われていることも。先生と生徒さんが来てワークショップを行っているそうです。

勉強するにはお昼時を過ぎた14時半くらいからがオススメです。人が少なくなってきた夜なら席も自由に移動して大丈夫だそうです。お気に入りの位置を見つけてみるのもありです！

TEA ROSE CAFE

取材/記事：石井



JR町田駅から少し歩くと町田ターミナルプラザ2階にオレンジの看板が印象的な「TEA ROSE CAFE」というカフェがあります。クレープの屋台のようなディスプレイや沢山の看板が店頭にある賑やかな印象です。しかし一転して店内はジャズミュージックが心地いい、ちょっとレトロな落ち着いた空間です。メニューへのこだわりが強く種類がとにかく豊富で、お値段も手頃です。もちもち生地とクリームたっぷりのクレープやポリュミーなパ



「集中して課題に取り組みたい」「息苦しくない環境でやりたい！」という方は、ぜひSTUDY MAX CAFEを利用してはいかがでしょうか。

気になる Sagamachi

大学生であるさがまちメンバーで、普段なかなか行く機会のないお店を尋ねてみようというこの企画。今回は「勉強に向いてるカフェ」をテーマに、たまに家の外で作業したいなって場合にオススメのスマートで静かなカフェへ取材に伺いました。作業場所に困ったら、是非一度行ってみてください。

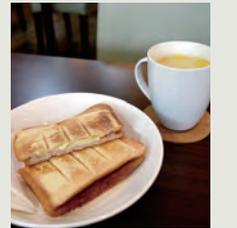
STUDY MAX CAFE

取材/記事：三浦



相模大野駅から徒歩2分。ポーノ相模大野内に「STUDY MAX CAFE」というカフェがあります。ここは、一般的に想像するカフェとは全く違って、看板には勉強するための喫茶店と書かれています。店内は、塾とか図書館にある自習室のような雰囲気です。席が一つひとつ区切られていて、いかにも集中できそうな感じでした。多分予備校の職員もともと予備校の職員だった小山さんが、「うち

お客さんの割合は、学生と社会人で半々とのこと。小学生から75歳の年代の方が利用しているそうです。また、最近では、定年後にもう一度大学に通われる方や資格を取るために仕事しながら大学に通われる社会人の方の利用も増えているとか。お店のセールスポイントは、勉強目的の人が集まるので、とにかく集中できること。忙しく、雑踏の中で生きている現代人にとって、心を落ち着かせて静かに集中できる時間は、想像を超えるほどの効果があるそうです。確かに、お店の外に貼ってある合格実績は、難関と言われる大学や資格が多かったです。また、机が仕切られているので、専門的な勉強が思う存分にできます。医療系の方など、普通の喫茶店では参考書を開くことが困難な場合でも、ここなら大丈夫ですね。さらに、パソコンや電卓も使える空間は、ありそうでないですよね。また、解いている赤本を見て、無言のライバル意識が



TEA ROSE CAFE

町田市原町田3-1-4-2F (JR町田駅から徒歩5分)
TEL 042-728-2544
営業時間 8:00~20:00



カフェららら

住所 相模原市南区相模大野5-23-7 石崎ビル 1F (相模大野駅北口から徒歩10分)
営業時間 10:30~20:00 定休日 日曜日
TEL 042-749-8113 <https://ameblo.jp/tksac-ide/>



STUDY MAX CAFE

住所 相模原市南区相模大野3-3-2 (ポーノ相模大野2階)
TEL 042-705-5632
営業時間 平日:11:00~23:00、土:10:30~22:30、日祝:10:00~22:00
<http://www.study-max-cafe.jp/>



黑板アートをつくりかた

誰でもつくれるつくりかた

初めて黑板アートをやってみて

思い出に残る何か大きなものを学生5名のメンバーで協力して作りたいと思い、黑板アートを思い付きました。学生らしさがあると思っし、また、やってみたかったことでもありました。実際デザインを決めるとなると美術を学んでいるわけでもない自分に本当に描けるのかという思いがよぎり写真や構図を考えられませんでした。

しかし、SNSで黑板アートを検索してみたところ、自分にもできそうなテクニックや、リアリティ以外にも楽しめる点に気づきデザイン案を提案する事が出来ました。それでも、デザイン全体の画像を見た時は素敵すぎて不安になりましたが、実際に描けるところから始めてみると楽しくなり、難しいところもやってみて、思い

うようくなりました。初日はどうしたらいいかわからない学生がほとんどでしたが二日目の後半には自分たちでアレンジを加えられるようにもなりました。

二日間黑板と向き合ったのはきつい面もありましたが、時々黑板から離れてみた時に想像以上に完成されているのを見て嬉しく思い、また、完成して撮影をしている時は、自分のやりたかったことを形にできたことへの大きな達成感がありました。

最後までやり切れることができたのはたとえ少しでも協力してくれたメンバーがいたからだと思うので感謝しています。それぞれが自分の出来ることで協力できたことが良かったと思います。



1 準備するもの



まず初めに、全体のデザインをコピーした紙、実際に描くのと同じサイズにコピーした紙、チョーク(今回使用したのはレイメイ藤井チョークパステル)、濡らした雑巾、養生テープを準備します。この四つさえあれば誰でもできるのです!

3 実際に描いてみよう!



先ほど貼った紙をめくりながら写し絵をします。まず白のチョークで全体を描きそのあとに色を入れていきます。文字など書きやすそうなところから始めていくと、まず全体像が見えてくるので進めやすくなると思います。時々引いて見ることで仕上がりが見えてきます。リアルさよりも、こんな感じかなと試してみる事が大切です!

2 紙を使って



今回は36枚のA4用紙に分けてコピーしました。原寸大にコピーされた紙は実際描くところに、養生テープで貼っていきます。テープは紙の上の方に貼ります。この時紙の余白となっている部分を折り、つなぎ目がずれないようにすることを意識します。上段の真ん中の紙を貼りその隣を貼っていき、最初の上段を完成させるとやりやすいかもしれません!

4 仕上げ!



よりリアルに描くポイントは、「雑巾で描く」こと。モノとモノの境界を描くことができます。難しかった点は、斜めの構図の写真を書き写すときの平衡感覚、小さな人の絵などは難しかったです。細かい所はおおまかにかくだけでもいいかもしれません。

制作時間は合計12時間の二日間で、制作人数は7人でした。



伊勢丹相模原店
「相模大野アートクラフト市」
伊勢丹相模原店が2回目の第二会場に!
 昨年11月に開催し好評を博したアートクラフト展第二弾! 人気の「相模大野アートクラフト市」と連動し、1点1点がオリジナルのアイテムを一堂にご紹介いたします。
 ※「相模大野アートクラフト市」は4月29日(日)開催。雨天中止。
 【会期】4月25日(水)～30日(月・振替休日)＜最終日6時終了＞
 【会場】伊勢丹相模原店2階＝ギャラリースクエア
 【問合せ】伊勢丹相模原店
 住所:〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野4-4-3
 TEL:042-740-1111(大代表)



相模女子大学・相模女子大学短期大学部
オープンキャンパス2018
 相模女子大学の魅力をぜひ体験しにいらしてください。
 【開催日時】5/13(日)、6/10(日)、7/14(土)、8/4(土)、8/19(日)、9/23(日) 10:00～15:00
 12/1(土) 12:00～15:00
 【問合せ】大学事務部 入試課
 TEL:0120-816-332 / 042-749-5533
 Mail:kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp



町田市生涯学習センター
「第13回まちだフレッシュコンサート」を開催します!
 今春、大学を卒業したばかりの若手音楽家によるクラシックコンサートです。町田発のフレッシュな音楽をお楽しみください。
 【日時】2018年4月21日(土) 15:00開演(14:30開場)
 【会場】生涯学習センター7階ホール
 【定員】123人(申し込み順)
 【申込先】イベントダイヤル(Tel.042-724-5656)または町田市イベント申し込みシステム「イベシス」へ
 【問合せ】町田市生涯学習センター
 TEL:042-728-0071

社会福祉法人 みずき福祉会 町田福祉園
さぼ☆どり2018～人が集まり・育つコミュニティづくり講座～
 人との関わりが楽しい。信頼できる仲間と囲まれて幸せ。自分の仕事を周りの人に自慢したい。誰かを応援したくて仕方がない。毎日がワクワクで充実しきり。…そんな、「人生と仕事が楽しくなるヒント」をもらえる講座です。関係性と主体性が高まるスキルを磨いてみませんか?
 ※最新情報は、facebookページ「知的・発達障がい者福祉サポーターズ ドリームプラン・プレゼンテーション」facebookグループ「さぼ☆どり」にてご確認ください。
 【日時】講座:2018年8月～/最終発表2018年12月15日(土)
 【会場】社会福祉法人 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館2F講堂
 【参加費】無料(※要事前申込)
 【問合せ】社会福祉法人 みずき福祉会 町田福祉園内 さぼ☆どり事務局 担当:富岡一明(とみおかかずあき)
 住所:〒194-0203 東京都町田市図師町971-2
 TEL:042-793-2819
 FAX:042-793-2815
 Mail:sapodori@machidafukushien.com
 WEB:https://sapodori-yume.webu.jp/



相模原市社会福祉協議会
いるかバンク登録者募集 (ボランティア登録のおススメ)
 いるかバンクに登録してボランティアをはじめよう! 「何か自分に出ることをやってみよう」というあなたに、市内ボランティアを必要としている人や施設、イベントの募集情報をお届けします。ボランティア活動保険加入手続きも出来ます。詳細は、下記までお問合せください。
 【問合せ】緑区 相模原市社会福祉協議会 緑ボランティアセンター TEL:042-775-1761
 中央区 相模原市社会福祉協議会 中央ボランティアセンター TEL:042-786-6181
 南区 相模原市社会福祉協議会 南ボランティアセンター TEL:042-765-7085



東京造形大学附属美術館
ZOKEI賞選抜作品展 開催!
 東京造形大学では、卒業制作展「ZOKEI展」を毎年1月に開催しています。「ZOKEI展」に出品された数多くの作品の中から、特に優秀な作品に対して「ZOKEI賞」を授与しています。本展では「ZOKEI賞」受賞作品からさらに選抜した、12名の作品(デザイン、絵画、彫刻)をご紹介します。
 【会期】2018年5月17日(木)～6月20日(水)入館無料
 【休館】日曜・祝日 ※ただし6月10日(日)は開館
 【時間】10:00～16:30(入館は16:00まで)
 【会場】東京造形大学附属美術館
 [TEL]042-637-8111(代表)
 【WEB】http://www.zokei.ac.jp/museum/



相模原市 市民協働推進課
相模原市自治会連合会 自治会員募集中!一緒に活動しませんか?
 大きな災害が起こったときや、日頃安全に安心して暮らすための「地域の力」。自治会活動に参加し、一緒に住みやすいまちをつくりませんか。
 ●自治会大会 7月7日(土) 13:30から相模原市民会館において相模原市民吹奏楽団の演奏を予定。どなたでも参加可能!参加費無料!是非お越しください。
 【WEB】http://www.sagamihara-jichiren.jp/
 【問合せ】相模原市自治会連合会事務局
 営業時間:月～金 10:00～16:00
 TEL:042-753-3419



相模原市 市民協働推進課
さがみはら地域づくり大学 平成30年度受講者募集!
 ただ今、新年度の受講申込みを開始しています。協働の観点での地域活動・市民活動を進めるうえで必要な知識や技術について、座学とフィールドワークを合わせて楽しみながら学べる講座になっています。「知る・見る・やってみる」学びを通して自分出来ることを探してみませんか?
 ※詳細は各公共施設配架のパンフレットやホームページでご確認ください。
 【問合せ】ユニコムプラザさがみはら(指定管理者)
 TEL:042-701-4370

多摩美術大学
オープンキャンパス×進学相談会2018
 多摩美生を疑似体験できる貴重な機会です。当日は、作品展示や講演会、またはワークショップなど数多くの催し内容を用意しています。どの学科で何を学べるかを体験できる機会として活用してください。
 【会期】2018年7月14日(土)・15日(日)
 【問合せ】多摩美術大学入学センター
 TEL:042-679-5601



さがまち学生Club下半期を振り返って

本部班
石井 ワークショップ企画やカフェ取材など、地域の人の新たな出会いや発見がありました。また得意分野であるポスター、イラスト制作なども任せてもらったのでやりがいを感じていました!たくさんの出会いと貴重な体験のできた半年だったと思います!
上村 今期も無事さがまち学生clubを締めくることができました。企画を考えるのが楽しかったです!企画の考え方、広げ方などたくさんを学べました。来年は自分の企画を形にしたいです!あと、なかなか参加できなくてごめんさい!
長沼 今期はテンションもモチベーションも高いメンバーがそろい、2年間活動してきた中で一番思いのよい「さがまち」でした!今後もさがまちで得た経験をどんどん他の活動へと繋げていきたいです!
三浦 さがまち学生Clubで活動を始めて2年目になりますが、今年度は、新しいプロジェクトや情報誌作りに関わることができたので、楽しくて、勉強になった1年でした。
森本 前期より、0から作り上げてきた藤の台団地のWSを就活のせいで手放す形になってしまって残念な気持ちと悔しい気持ちが混ざっています。本部の皆さん、特に新しく入ったあやぼんの活躍はわかりました。ありがとうございます!就活終わったらまた顔を出しに行きます!
紙面班
北之園 初参加の一年で、最初は冊子作成のみのつもりでしたが、積極的に様々な活動をして、自分の強みを見つけられました。様々な方と話し、とても濃い時間も過ごせました。来年は自分の考えを形にしていきたいです。
久保 実際に取材を経験し、記事という形になったときはとても嬉しかったです!また企画を考える際の、他の方との意見交換や意見出しがとても新鮮で、考え方や姿勢、伝え方など学ぶことができました。
紺野 今回初めて誌面作りに参加させて頂いて、「企業で働くってこんな感じなんだろうかと」皆と一緒に何か作り上げる楽しさをさがまち学生Clubを通して知ることができました。ありがとうございます。
西澤 情報誌『Sagamachi』に携わるのも気づけばもう4回目。右も左もわからなかったころに比べると記事制作も少しは様になったでしょうか。今号は今までよりもいろいろなことを考えながら記事制作をさせていただきました。発行がこんなに待ち遠しかったのは初めてです。ご協力いただいた方々に感謝を申し上げるとともに読者の方々が少しでも楽しんでいただければ幸いです。
早津 自ら取材し考えた記事が紙面を通し様々な人々に伝わることは、紙の可能性を感じると共に、我々学生の可能性と視野を広げる貴重な体験となりました。紙だから伝わる人、ものがあると思っています。
松井 さがまの紙面班として活動し、Web記事や企業取材、レイアウトにも挑戦させていただき、学生から大人まで

様々な方々に出会うことができました。関わった皆様、たくさん学びとご縁をありがとうございました。
茂木 私は、地域の方や同じ地域に通う色んな大学の人と関われる良い機会だと思い、さがまち学生Clubに入りました。なかなか学業とサークルの両立が難しく、行けない時が多かったのですがサークルの会議や行事はとても勉強になることが多く、楽しかったです。
桃井 企画を考えるのが楽しかったです!企画の考え方、広げ方などたくさんを学べました。来年は自分の企画を形にしたいです!あと、なかなか参加できなくてごめんさい!
横山 今回、紙面取材に挑戦したり紙面班以外でもイベントに参加出来たりととても良い経験が出来ました。今後も、様々な取材に挑戦してみたいです。
イベント班
麻柄 私はイベント班に所属して、大変だなと思う事も多かったけど、その分やりがいもあってすごく楽しかったです。
大友 私はさがまちクラブに帰国後参加させていただいて、短い期間ではありましたが、学校の授業だけでは学べないことを学べました。中学校での講義は貴重な体験となりました。
後藤 今回の活動を振り返って、人数が多いイベント班では、話し合いや仕事の分担が最終的な完成度にとっても大きく影響するため、お互いに助け合うことの大切さを身に染みて感じる事ができました。
ザーマン イベント班として様々なイベントを企画、運営しました。当日人手が足りずとても忙しく疲れることもありましたが、地域の方々がつくる空間に関わることで普段話せない人との交流、新しい発見が充実していました。
添田 1つの企画を皆でやり遂げる、貴重な体験ができました。違う視点の意見や疑問点が会議の中で生み出されていい企画が出来る。不可能に思える事も、皆とならぎとかなる。学生クラブの皆から勇気を貰い、内気な性格も変える事ができました。
高橋 さがまちCLUBはほんとに人との触れ合いを大切にしている、中学生のやつでも、年下との関係やさがまの皆さんとの関係で、就職での上下関係という大切さを改めて実感しました。ここで学んだことを活かしていきたいです。ありがとうございます。
友常 私はサボリ癖があるが、さがまちは用事がない限りは行くし、イベントには積極的に参加するようになりました。イベントでは子供からお年寄りまで色々な世代の方と触れ合えたりするの、学べるのがたくさん。さがまちはずっと続けたいと思っています。
長谷川 学校では経験できないようなイベントなどに参加できて自分の経験値を上げることができました。仲間たちと意見を出し合いより話を広げることで自分の考えが豊かになったと思います。

【今号の参加学校】
 青山学院大学 / 桜美林大学 / 相模女子大学 / 湘北短期大学 / 女子美術大学 / 玉川大学 / 法政大学 (50音順)

牧田 サークルに入っていない私は他の大学の人と話す機会はなく、ましてはまちを盛り上げることに話し合うことになるとは思っていなかったの、良い機会だったと思います。イベント班として中学校に特別授業も行きました。盛り上がってくれるのかなどと不安もあったのですが、みんなすごく元気でたくさん話しかけて来てくれて、楽しんでくれたようでした。ありがとうございました。
増田 私は今期初めて参加しました。さがまち学生クラブではアイデアを広げるための考え方を学べました。また、発言する機会も多く発表する緊張は以前より薄れたように思います。参加してよかったと思いました。
松田 違う大学、学年の方々話し合いをする事で自分の視野を広げられ、また多くの普段出来ない皆さんのことを経験することができました。皆仲良く楽しく半期を過ごせ、楽しかったです。
宮腰 半期を振り返って色々な人の話を聞かせていただきおもしろい触れることは新鮮な体験でいい経験になったとおもいます。一番印象的な出来事は中学校でのクイズ大会です。沢山の中学生と話しをして中学生に戻った気分でした。
映像班
安倍 私は映像班の一員としてさがまち学生clubに携らせていただいたのですが、先輩に始まり多くの方々の協力無しには、作品を完成させることはできませんでした。思い出に残る、貴重な体験をさせて頂き感謝しています!
大林 映像班として、ひなた村という青少年施設のPR動画を作成しました。大人の意見ではなく、子供たちの生の声を届けることをテーマに、ひなた村に遊びに来る子供たちの笑顔溢れる動画が完成しました。
柴田 映像班に入って映像制作の楽しさを学びました。どのような動画にするかについて何度も話し合いをするなど準備は大変なこともありましたが、その分映像が出来上がったときの感動は大きかったです。
根本 映像制作を通し、普段の大学生活では気づかない社会問題に触れることが出来て良かったです。ただ映像を作るのではなく、なぜ必要とされているのかを考える事は映像というメディアを扱う上で良い機会になりました。
松本 今回、さがまに初めて参加しましたが普通の大学生活ではなかなか体験できない貴重な時間が過ごせたと思います。人間的に成長することができました。
綿貫 映像班としてさがまち学生クラブに参加させて頂いてたくさん学ぶことが多かったし、他校の大学の方と関わることで楽しかったです。ありがとうございます。
渡井 私は将来映像関係の職に就きたいというのあり映像班に所属しました。映像班では会議やCMの絵コンテ製作、撮影などめったにできない貴重な経験ができました。これからもこの経験を活かして頑張りたいです!